

## 子どもがつくる多世代交流型 ZINE

 たんらん  
 団欒長屋プロジェクト

 コース  
 初動  
 事業

### 申込内容

#### ■事業の概要

子ども記者が主体となった『だんらんしんぶん』6号～8号を発行します。大人が読んで面白い、ローカルネタ満載の学級新聞のようなZINE（小冊子）をめざして、地域での多世代交流を深めます。

#### ■目的

多世代でつながる子育て空間の創造—かつての長屋暮らしのように、地域全体で子どもの成長を見守り、様々な世代の『困った』と『得意』をつなげる拠点となって、世代間の互助的でゆるやかなコミュニティをめざす。

■交付決定額 100,000 円  
 （事業予算 136,500 円）



### ◎活動の様子

秋風が吹く午後、団欒学童舎（蛭池西町）に集まった11人の子どもたち。子どもがつくる多世代交流型ZINE「だんらんしんぶん」第7号（11月発行）に向けて、企画や取材、編集、配布を行う「子ども記者」です。

9月12日（土）は、講座開催とゲストを招いて取材を行いました。とても賑やか、和やかななか、下中絵里加さんの似顔絵講座が始まりました。

まず、顔の成り立ちを学ぶため、有名人をモデルに目や鼻の位置を考えます。「顔の輪郭や目の大きさ、みんなの顔は違う。個性をつかむと、その人らしくなりますよ」下中さんの話しに耳を傾ける子どもたちの姿は真剣そのものです。続いて、ペアになって顔をよく観察しながらお互いの特徴を描きました。

次に、第7号の特集「ようこそゲストさん」で紹介するリサイクル工房「竹炭塾」入江忠徳さんを招いて竹工作をしました。紙面担当の子ども記者はえんぴつと紙を持って様々な質問をしていました。



今回は、だんらん新聞の大人スタッフの他に、ボランティアが参加していました。幼稚園教諭資格を保有する女性は「来るたびにパワーをもらっています。飽きない工夫があり、プログラムが多彩。子どもたちにとってもいい場所だと思います」「ここはいろんなことに触れられ、人と知り合える場所です。こういう活動があることを今まで知らなかったです」と、豊中高校の高校生。

「様々な業種の人とつながる機会を積極的につくり、知り合った方に講座やイベントをお願いしています。昨年からはじめた「だんらんしんぶん」は、地元以外の方も読んでおられ広がりを感じています。今年は、発行を3回に減らし、紙面の充実をめざしています」と、代表の淵上桃子さんは話しました。

### ◎今後の予定（平成27年度）

子どもによる多世代交流型ZINE「だんらんしんぶん」11月第7号発行 3月第8号発行

◎リンク [▼団欒長屋プロジェクトホームページ](#)